

ゆたかクラブ豊橋だより

# 吉田春秋



## 第68号

発行 / ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会) ■編集協力(株)博報社 / 名古屋市北区田幡2-13-23 2F-B ☎0120-0212-09



入場で手指消毒と体温測定



水下和彦・美絵子さんご夫妻



森義和・山美子さんご夫妻



河邊尚博・日出子さんご夫妻



### 第58回豊橋市高齢者福祉大会

主催 豊橋市・豊橋市老人クラブ連合会

## 第58回豊橋市高齢者福祉大会

昨年11月26日(金)、豊橋市公会堂で、第58回豊橋市高齢者福祉大会が開催されました。前回に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として手指消毒・体温測定・マスク着用・座席の間隔確保などを講じて行われました。

はじめに主催者を代表して浅井市長と市老連今川会長からあいさつがあり、続いて豊橋市長祝詞贈呈に移りました。

結婚60周年を迎えたダイヤモンド婚のご夫婦52組と、50周年を迎えられた金婚のご夫婦101組の中から代表して、ダイヤモンド婚からは木下和彦・美絵子さんご夫妻、金婚からは森義和・由美子さんご夫妻の2組が壇上で祝詞を受け取りました。

その後、来賓祝辞へと移り田中市議会議員長、丹羽県議会議員が祝辞を述べ、ご臨席の来賓紹介が行われました。



田中稔・智江さんご夫妻

休憩の後、「花男子による感動の花贈りパフォーマンス」が行われ、2組のご夫婦(河邊尚博・日出子さん夫妻、田中稔・智江さん夫妻)がステージに登壇。旦那さまが感謝の言葉を添えて奥さまに花束を手渡しました。また、会場にいる全てのご夫婦にブーケが配られ、花男子の合図により参加者全員で一斉に「花贈り」が行われました。



感謝の言葉を添えて花贈り

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています



第53回  
趣味の作品展

広報文化部長 鈴木 輝男

水墨画



新年のご挨拶

ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)  
会長 今川 智嗣

新年あけましておめでと  
うございます。会員の皆さま  
まにおかれましては、健やか  
かに新年をお迎えのこと  
お慶び申し上げます。また、  
日頃よりゆたかクラブ豊橋  
の事業にご理解とご協力を  
いただきまして誠にありが  
とうございます。

続き、新型コロナウイルス  
感染症への対応に追われる  
1年となりました。皆さま  
の積極的なご協力もあり、  
豊橋の高齢者のワクチン接  
種率は9割を超えています  
が、新たな変異株が出現す  
るなど、私達の活動は依然  
として苦戦を強いられてお  
ります。しかし、コロナ禍

会、ボウリング大会などの  
レクリエーション大会は、  
多くの会員の皆さまにご参  
加いただき、盛況に開催す  
ることができました。10月  
に市民文化会館で開催した  
趣味の作品展では、昨年度  
より130人も多い、41  
3名の方々にご来場いた  
きました。

他にも喜ばしいこととし  
ましては、「優良老人クラ  
ブ」として12年ぶりに2ク  
ラブを表彰することができ  
ました。幸校区の「牧野町  
長寿会」と向山校区の「い  
きいきクラブ」です。「牧  
野町長寿会」は、通学路で  
の旗当番を長きにわたり実  
施し、地域の安全に貢献さ  
れています。「いきいきク  
ラブ」は、コロナ禍におい  
ても、感染防止対策を講じ  
ながら会員の楽しめるイベ  
ントを開催して会員を増や  
されています。奇しくも今

年の干支は「壬寅」。厳し  
い冬を越えて芽吹き始める  
意味を持つと言われている  
年です。楽観視はできませ  
んが、この厳しいコロナ禍  
を越え、2022年は私た  
ちの努力が芽吹く明るい年  
になるよう、皆さまの引き  
続きのご協力を賜りますよ  
うにお願い申し上げます。  
結びに、本年が皆さまに  
とって、希望あふれる年  
になりますように心より祈念  
いたしまして新年のご挨拶  
とさせていただきます。



新型コロナウイルス感染  
症第5波の緊急事態宣言・  
愛知県府の厳重警戒措置が解  
除された昨年10月20日(水)か  
ら22日(金)の3日間、豊橋市  
民文化会館2階展示室で、  
第16回とよはしシニアフェ  
スティバル、第53回趣味の  
作品展が行われました。今  
回は、出展者数が189名  
(前年178名)、出品点数  
235点(前年190点)  
あり、コロナ禍においても  
趣味の作品作りは、熱心に  
取り組まれたものと拝察い

たします。来場者も3日間  
で413名と前年の283  
名を上回りました。2回の  
ワクチン接種とコロナウイ  
ルス感染者の減少が少な  
からず外出気分を盛り上げ  
たのではないかと思います。  
展示作品の中でも「ちぎ  
り絵・塗り絵」の41点(前  
年26点)、「手工芸」の57  
点(前年35点)は、出品点  
数増に貢献いただきました。  
また、絵手紙、写真、  
書道、水墨画、俳句・川  
柳、設楽町の皆さまの作品  
はどれも力作揃いで、来場



者を楽しませていただきま  
した。このような趣味の作  
品展に出展することや吉田  
春秋に投稿することは、私  
たち高齢者にとって作る楽  
しみと創作意欲高揚で仲間  
同士のつながりや、生きが  
いづくりにつながるのでは  
ないでしょうか? 今後も  
趣味の作品展への出展や、  
吉田春秋への投稿をご期待  
申し上げます。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

### 第23回 ペタンク大会



◎日時  
令和3年10月7日(木)

◎場所  
豊橋球場

◎実施内容  
予選リーグ戦を行った後、勝ち残った14チームにより決勝トーナメントを行いました。

- ◎参加人数  
125名(42チーム)
- ◎大会結果  
優勝/杉山Cチーム  
準優勝/福岡Eチーム  
第3位/福岡Dチーム  
第4位/富士見Cチーム  
第5位/牛川Dチーム  
第6位/磯辺Bチーム  
第7位/福岡Cチーム  
第8位/小沢Bチーム

優勝おめでとうございます



優勝した杉山Cチーム

### 第45回 ゲートボール大会



◎日時  
令和3年10月7日(木)

◎場所  
豊橋球場

◎実施内容  
参加チームを2ブロックに分けて実施し、順位は勝数・得失点差・対戦成績および得点率により決定しました。

- ◎参加人数  
51名(9チーム)
- ◎大会結果  
優勝/嵩山チーム  
準優勝/花田チーム  
第3位/細谷チーム

優勝おめでとうございます



優勝した嵩山チーム

## 各種スポーツ大会結果報告

高齢者に適したスポーツを通して、健康を保持し、生きがいを高めるとともに、相互の親睦を深めることを目的とした各種大会を開催しました。



### 第9回 ゴルフ大会

優勝おめでとうございます

- ◎日時  
令和3年11月4日(木)
- ◎場所  
新城カントリー倶楽部
- ◎実施内容  
9ホール(ダブルペリア方式)
- ◎参加人数  
114名
- ◎大会結果  
優勝/西川 誠(高師)  
準優勝/赤羽 紀比古(新川)  
第3位/宮下 康行(高師)
- 《ドラコン賞》  
北コース6番/早川 清美(大清水)  
東コース9番/松下 四郎(前芝)  
南コース3番/宮下 康行(高師)
- 《ニアピン賞》  
北コース3番/西脇 正明(大清水)  
東コース2番/判治 生持(花田)  
南コース4番/木下 和彦(松葉)



優勝した西川誠さん



### 第9回 ボウリング大会

- ◎日時  
令和3年12月15日(水)
- ◎場所  
岩屋キャノンボウル
- ◎実施内容  
2ゲームの合計スコア(団体は1チーム5名、同スコアの場合は2ゲームの得点差が小さい方が上位となります)
- ◎参加人数  
100名(20チーム)
- ◎大会結果《団体の部》

順位	チーム名	スコア
優勝	牛川	1,713
準優勝	新川	1,583
第3位	吉田方A	1,491

◎大会結果《個人の部(男子)》

順位	氏名(校区)	スコア
優勝	松下 賢一(新川)	414
準優勝	金原 正芳(吉田方)	397
第3位	長谷 博行(牛川)	363

※上記の賞以外に、飛び賞(10位ごと)、ブービー賞を贈呈しました。



団体の部で優勝した牛川チーム

優勝おめでとうございます



個人の部で優勝した松下さん(左)と大羽さん(右)

《個人の部(女子)》

順位	氏名(校区)	スコア
優勝	大羽 孝子(牛川)	360
準優勝	清水 幸子(大清水)	357
第3位	長谷 慶子(牛川)	341

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

### 校区・単位クラブ活動

#### 岩田校区

##### 花吹雪に包まれウォーキング

岩田校区老人クラブ連合会 伊達 勲

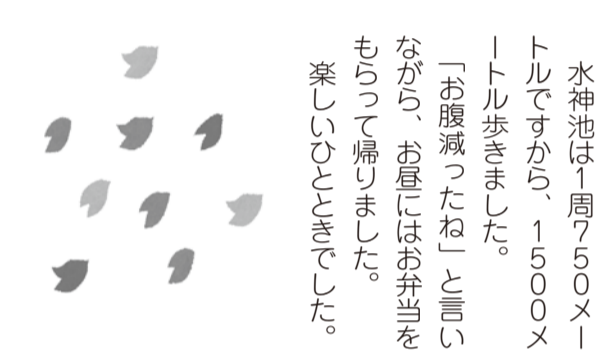
4月5日(月)は前日の雨も上がり、気持ちのいいウォーキング日和になりました。昨年はコロナのため中止だったので、2年ぶりに桜を見ながらのウォーキングです。あつたかい日が続いているので、早く咲き始めた桜は、もう散り始めていました。



「あんな髪にいつぱい花びら付けて、かわいじゃん！」と明るい声が響きました。花びら舞う水神池の周りを、マスクをして密にならないよう、ゆっくり歩きました。参加した162人は、「わーい花吹雪だ！」「綺麗だね」と感動しながら2周しました。



水神池は1周750メートルですから、1500メートル歩きました。「お腹減ったね」と言いながら、お昼にはお弁当をもらって帰りました。楽しいひとときでした。



#### 花田校区

##### 趣味の作品展を見学して

花田校区老人クラブ連合会 二橋 明子

10月20日(水)、豊橋市老人クラブ連合会の趣味の作品展を見学しに豊橋市民文化会館に行った。

各地の老人クラブの優秀な作品が広い展示会場いっぱいにならべられ見事だった。書道、絵画、手工芸、陶芸、写真、川柳、俳句、

絵手紙、塗り絵など、長年の努力の成果が発揮されてプロの作品と思われるものなど非常に驚き目を見張るものが数々あった。各地の老人クラブの皆さまの力の入れ方が見受けられ感心した。見学者の皆さまもそれぞれに感心して会場内にも

各地の老人クラブの優秀な作品が広い展示会場いっぱいにならべられ見事だった。書道、絵画、手工芸、陶芸、写真、川柳、俳句、



#### 大清水校区

##### 校区老人クラブ行事として花いっぱいしょうぶ園を散策

大清水老人クラブ連合会 小嶋 義雄

大清水校区には、色鮮やかに咲く花しょうぶ園があります。遠い昔の大清水には、点在する湿地に、花しょうぶが一面に自生していたそうです。今は校区のみんで雑草取りを行い、株分け、夏の水やりと1年を通



じて、みんなで大切に育てています。もちろん作業は自治会が中心です。私たちは老人クラブは、草取りくらいしか分担できません。それでも気持ちだけでも協力して、汗を流します。

大清水校区の老人クラブ活動も、コロナ禍で我慢の日々が続いています。そんな6月吉日に校区のウォーキング行事として、しょうぶの花が咲き競う花しょうぶ園への散歩に出掛けました。この頃、私たち高齢者にはすでにワクチン接種は行き渡っていましたが、念のため、出発時に近在の南部包括センターのスタッフの方に応援いただき、参加者全員の体調確認を行いました。当日はお天気にも恵



まれ、参加者全員がしょうぶの花が一面に咲き競う花しょうぶ園への散策を満喫することができました。

今後も、コロナウイルスへの警戒のため、気の滅入る日々が続きます。そんな厳しい状況下ではありますが、今後も私たちの健康寿命をさらに延ばすような、明るい校区老人クラブ活動を目指して活動してゆきたいと考えています。

ぎわっていた。私たち花田校区からも毎月サロンとして編み物、造花、折り紙、塗り絵などの作品を出品したが、1つ面白かったのは折り紙で「花」を折り、文字表現をして花田の展示場所を示したことだった。とても良い工夫と思われた。各地域の交流の場としても良い催事だ。作品展の見学をして来年の出品の参考にもなり、また新しい意欲も湧いてきて楽しかった。

記念に同行した会員と今川会長さんと記念撮影もした。その後、館内喫茶店でコーヒーをいただきながら雑談をして楽しい1日となった。普段自家用車にて出掛けていたが、必要に応じて徒歩もせねばと友人と市内の



路線バスも利用して往復過ごしたことも珍しい体験だった。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

### 校区・単位クラブ活動



#### 富士見校区

##### 歩け歩け大会と スポーツ交流に変化が

富士見校区老人クラブ連合会 上妻 貢

11月14日(日)晴天の中、9時〜11時30分まで、坪の谷公園グラウンドにて、「歩け歩け大会とスポーツ交流大会」を開催、参加者52名の皆さんが、笑顔あり・元気な掛け声ありで、楽しく交流ができました。

今回は、このイベントを盛り上げるために「横断幕」を作成し、参加者への盛り上げと、地域の人たちにも老人クラブの活動を知っていただき、「見える活動」を行うことと致しました。競技中、新たな変化がありました。グラウンドへ遊びに来た子供たちが、「僕たちにも輪投げをやらせてください」と言って仲間に入り、何か子供たちが参加することによって、今までと違った明るい雰囲気で、競技に花が咲きました。

内容としては、ラジオ体操で体をほぐし、参加者全員でグラウンド(1周400メートル)を3周歩き、一呼吸した後、それぞれ自由に希望する競技(ペタンク、グラウンド・ゴルフ、輪投げ)などへ参加し、楽しく交流するというもの

競技が終了し、子供たちが帰り際に言った言葉が「また、今度あったら参加してもいいですか」と尋ねられ、大変うれしく思いました。今まで、老人クラブの行事といえば地域のボランティア活動ばかりのように思われていましたが、このようなイベントもあることを知っていただけたら幸いです。

#### 岩田校区

##### 秋のウォーキング

岩田校区老人クラブ連合会 河野 稔

11月1日(月)に行われた秋のウォーキングは、前日の雨も上がり気温は22度。風

もなく、歩くと汗ばむほどの晴天に恵まれました。マスクをしての遠出は苦



しいので、春のウォーキングと同じように137人の参加者は水神池の周りを2周しました。「よく見ると枯れ木も綺麗で絵になるね」「私たちに似てるじゃん」と冗談を言いながら、ゆつくり歩きました。校区の日帰り旅行も芸術祭も中止になり、岩田校区老人クラブの皆さんと交流する機会が少なくなり、半年ぶりに顔を合わせる人がほとんどでした。「今日はいいい運動になったよ」「来年度はいろんな行事ができるといいね」と言いながら、行楽弁当をもらって帰りました。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

### 校区・単位クラブ活動

#### 玉川校区

#### 1カ月遅れの 老人クラブ社会奉仕活動

和楽会 高木 基生



ゆたかクラブ豊橋としても「社会奉仕」が推奨されていることから、今回の計画もこの主旨に沿ったものです。コロナ禍の中、長い長い巣ごもり期間がたつぷりありましたので、計画を考へるには十分でした。

実施日は令和3年10月16日(出)、念のため予備日を17日と決めました。当日の天気予報は午後から雨が降るとの予報でひと安心するものの、午前中の行事だけにお天気の急変も想定しながらの段取りでした。

ここ数週間の日中の暑いこと、あの暑さを考えるとほど良い曇り空の元(照

10月に入って急に「コロナ禍」が終息する兆しが見え始めました。愛知県も10月17日をもって規制を解除する方針を発表したため、私たち老人クラブ「和楽会」も毎月の定例会議で温めてきた、計画案を実行する方向で決めました。



りつける強い日差しはない絶好日)、9時きっかりに始めました。身支度を整えた男女31名が集合しました。69歳から元気な90歳までの、まぶしいほどに輝いている「和楽会」の精鋭部隊です。

会長さんのあいさつもそこそこ、担当者の注意事項を聞いてマスクの着用、ほど良い間隔などを守り、3組に分散して町内の生活道路、幹線道路の歩道を2人1組になり、ごみ袋片手に紙ばさみを器用に使いながら丁寧に歩いて拾い集めました。



打つ農道から、東西に伸びる「姫街道」の約2キロ(往復4キロ)の区間を、60分かけてごみを拾い歩いた結果、30リットル入りのごみ

袋16袋がいつぱいになりました。ホイールキャップや自転車の前かご、アルミ缶、ペットボトル、資材の一部から生活用品、生理用品まで、多種多様のごみでした。会員の中から今さら驚くほどでもない意見が出ましたが、改めて環境汚染の一部を見る思いで、全員で分別(燃えるごみ13袋、燃えないごみ3袋)仕分けをして、無事社会奉仕活動を終了しました。



頂いて、11時30分自由解散となりました。会員の皆さん、ご苦労さまでした。次回は出前講座を計画しています。

#### 岩田校区

#### 資源回収ご協力感謝抽選会

平岡区老人クラブ若竹会 伊達朝美

毎月1回、第2土曜日に資源回収を行っています。5月と11月は小学校の資源回収があるので行いません。

10月9日(出)に資源回収ご協力感謝抽選会を豊岡公園で行いました。事前に平岡区の全世帯に抽選券を配布しました。



抽選の始まる10分前にはもう長蛇の列ができました。

一人一人に感謝の言葉と、ご苦労をねぎらい、会長さんの閉会あいさつで締め、女性部が準備をしたお茶とお弁当、参加記念品を

1等5キロのお米12本、2等2キロのお米40本、3等ティッシュ5箱100本、そして昨年まではあとはハズレでしたが、「ハズレ」と言われたらあまりにもっかりするからと4等と言いつつハズレは4等300本です。ティッシュを燃やすごみの袋に入れて渡しました。



た人は、5キロのお米の袋を掲げて大喜びでした。今年は暑いぐらいの晴天に恵まりましたが、集会場のない平岡区は、雨が降ったらどうするかが今後の課題です。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

# 会員随想



## BS火野正平と走る私のこころ旅 東北…道の駅

玉川校区  
和楽会

杉浦敬一

3月25日(木)テレビを映すなり「火野正平」の「こころ旅」のダイジェスト版が放送されていた。あまりにも突然なのでビックリした。

朝から超ハッピーと思い、コーヒーを片手に妻が用意してくれたコロッケパンをかじりながら懐かしい映像にはまり込んでしまった。

秋田自動車道を北上、秋田空港を左に見ながら通過



するとやがて「昭和男鹿半島IC」で降り、道幅の広いバイパス道路を西に走ること15分、日本海を一望できる高さ50mほどの展望デッキがある「道の駅てんのう」に立ち寄った。館内には八郎瀧の歴史を展示したパネルがあると聞き訪れた。夏休みのせいもあり、親子連れが多く、丁寧な説明は分かりやすかった。その中で「豊橋」も八郎瀧の歴史に深く関わっていることを知った。もともと八郎瀧は浅い汽水湖で、千葉県利根川の漁法を取り入れ発展したのだが、その漁法が独特で、お椀を利用して網を張る手法を「豊橋」の漁師から伝授していると聞き驚いた。

全てを聞くには時間がないため、お礼を言って10時30分頃、天王スカイタワーをあとにした。県道101号線を北上すると、寒風山の手前に秋田を代表する「なまはげ」の巨大な立像のお出迎え。15mは優にあって二体が睨みつけるような迫りに圧倒された。時間もないことから記念写真を撮り、目の前の「寒風山」に向かう。登山道の大きなアーチをくぐり、いくつも建てた案内板に注意しながら山の外周を回り、30分ほどで山頂展望台に到着した。丸坊主の山(355m)からの展望は世界三景に十分に値するもので、素晴らしい一言に尽きる。日本で2番目に大きい「八郎瀧」は、かつて汽水湖だった所が国家プロジェクトにより昭和27年から始まった埋め立て工事等、幾多の苦

難を乗り越えて完成した。目の前に広がる広大な農地、コメ余りの現実を思うと不思議な思いでしばし眺めた。心苦しいが次の目的地「青森」から「竜飛岬」に向かう。岩木山の外周は見渡す限りリンゴ並木、走っても走っても途切れることのないリンゴの木、青森ICを降り、内真部バイパスを北上すると、いよいよ津軽半島を制覇する。北海道新幹線と並行して走る田園地帯の農道を「道の駅いまべつ」と新幹線駅があり、駅の時刻表は1日7本のみ。運の良いことに4両編成の新幹線に遭遇した。この先新幹線は北海道までトンネルの中で、並行して走るJR津軽線は、終点「三厩」までおつきあいをする事になる。三厩湾の海岸線(松前街道)を北上すると、民話

に出て来そうな古びた漁村と義経寺の巨大な石碑の出迎を受けた。海峡を渡る潮風を全身に受け、目指す「竜飛岬」はもう目の前。軒下ギリギリの海岸線、しぶきの洗礼を受けながら抜けるトンネル。やっこの思いで丘の上に向かう。急勾配の道路は、ナント野生の「山猿」の群れ。両側のガードレールはサルたちが列をなして出迎えてくれた。目の前に「風の岬、龍飛」とあるではないか。

## 白内障

二川南校区  
豊清町長寿会

前田やす江

8月の初めに、左目の白内障の手術を受けた。1泊2日の入院から帰った翌日、新聞を取りに行き、庭の木々の葉一枚一枚がはつきり見える感動にひたついていると孫が叫んだ。「バアちゃん外に出ちゃダメで。その夜「バアちゃん窓から顔出してたヨ」と母親に告げた。それを聞いた母親(娘)はそれはそれは厳しく注意してくれた。ムツとしたが、今は有り難い言葉だと思える。

一昨年、右目の手術を受けた後、草取りなどに着手するのが早すぎて大失敗をした。見えにくさを感じて病院へ駆け込んだとき、医師は厳しい顔で「失明もあ



りうる」と告げた。懸命の手当てのおかげで失明は免れた。半月の入院だったが、何とか通常の生活に戻れた。

私が入院中、子供たちは大変気をもみ、不自由な生活の中で毎日見に来てくれ、医師とも話して回復に力を尽くしてくれた。そのときの苦労が身にしみた二人は、私を絶対外に出さないよう見守っている。その代わり、草花への水やり、野菜取り、チャイムが鳴ると飛び出してくれたりしている。

有り難い監視付自粛生活をもう3週間も送っている。髪を洗う相談をしたが、不安な顔をされあきらめた。先生の「大丈夫」という太鼓判をいただくまではゆっくり過ごすことに腹を決めた。外仕事が好きならには少し寂しい日々だが。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

### 無作について シニアフェスティ バル展示

松山校区  
中松山町睦クラブ  
堀内 三朗

無作というのは、サンスクリット語で「アクリトリマ」と発音し、①自然的で人工的でない ②自発的 ③有効・真実という意味がある。

仏教では、あるがままの人間本来の姿のことである。自分自身の内奥から自然と発現するもので、背伸びして自分を誇張し、特別な人間に見せよとする虚栄心なく、たとえ今の自分が地獄・餓鬼の境涯であろうと、日々発心して広大な未来を開こうとする自発性を意味する。

自分は20代で事業に失敗した親の借金の返済と交渉を命じられた。先々代も豊橋駅前の一等地で旅館燃料店を営んでいたが、他人の借金の保証人となり全てを失い、駅前書店社長の別荘に隠棲し凋落した。

堀内家の罪業なのか歴代の繰り返しである。願兼於業という文字が頭の中を巡回し、とりあえず自分の使命と対自しつづ統合を目指した。無給状態が何年か続き、当時は自殺は望まず自然死を切望していた。死を覚悟した営業活動により、取り巻きの多くの人々

の助けにより、借金を完済できた。完済の日には債権者一同から祝宴が設けられ、関係者各位への感謝の思いで涙した。無作とは、同期生に嫉妬することなく、親や債権者を恨むことなく、全てを受け入れ、人と時を大切にすることだと思ふ。

願兼於業 法華経法師品「本来清浄である業報を捨てて、自ら願って悪業をつくり悪世(堀内家)に生まれ、人々を救済すること。」

### 我が町「東山」

飯村校区  
東山シルバークラブ  
伊藤 迪子

私の住む「東山」は、豊橋東部の岩屋緑地公園の北東部にある南北に長い町です。東海自然歩道・葦毛湿原なども近く、ハイキングやウォーキングも楽しめる自然豊かな地域です。若い頃はあまり感じませんでした。

他にも、世代を超えての交流イベント(納涼大会やお祭りの模擬店・サンタのパトロール等々)もあり、まだまだ人情が生きていて暮らしやすい町です。この町でゆったりと残りの人生を過ごしたい！

コロナ禍の今、特に感じる日々です。

### ひばりを想う

福岡校区  
橋良老人クラブ東みどり会  
寺田 亮一

美空ひばりとは同い年で、昭和12年生まれ。ひばりも存命であれば85歳で



す。月日の経つのは誠に早いもの、亡くなって33年になります。あまりにも早い旅立ちでした。芸能界、いえ日本にとって大きな損失であったように思います。ひばりほど歌の上手な歌手は二度と出ないであろうと言われておりました。

小学校6年生、12歳の時「リンゴ追分」でデビュー。あとは歌、映画にと引っ張りだこの忙しさです。当時テレビはまだなく、ラジオで流れる「リンゴ追分」「越後獅子舞」はちよっぴり悲哀もあり楽しみました。「港町十三番地」「柔」「真つ赤な太陽」「悲しい酒」「みだれ髪」「車屋さん」「川の流れるように」等々数知れないヒット曲。まさに歌謡界の女王美空ひばりとなりました。特別美人ではないが、人を惹きつける魅力ある顔です。

そんなひばりも病には勝てず「大腿骨頭壊死症」に侵され約半年間入院。もちろんだ正常な体ではないが退院。8カ月後、不死鳥ひばりは東京ドームの「こけら落とし」に5万5千人を集め、あの熱狂的なコンサートを行いました。オー

プニングでの衣装には圧倒されました。最後は肺炎も併発し、痛み苦しんだようで、最愛の息子が「あの苦しみはもう見るに忍びない、早く楽になつてほしい」と言うほどでした。NHKのラジオ深夜便で、ひばりの命日には全曲ひばりの歌が1時間流れます。今日もひばりの夢でも見て寝るか。

将棋界のスーパースター藤井聡太頑張れ。二刀流大谷翔平頑張れ。ド弱いドラゴンズ頑張れ。

### ハイイロチョッキリと団栗

飯村校区  
東山シルバークラブ  
原 芳夫

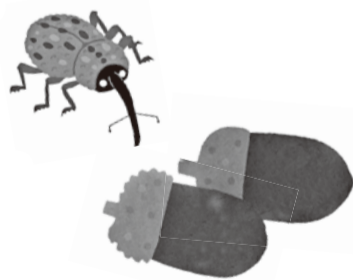
のんほいパークの植物園のポランティアに参加して4年目になります。植物の名も知らず気軽に応募したものの、この歳で大変な思いをしています。ネット等で調べながら説明資料を作る中、興味ある驚きの自然に出会いました。それはハイイロチョッキリと団栗の関係です。

ハイイロチョッキリは甲虫目です。象虫を想像してください。大きさは7〜9mm。本州・九州・四国に生息。8月〜9月に団栗の中に産卵し、団栗の付いた枝を葉ごと切り落とします。なぜ枝葉を切り落とすか？植

物は葉などを虫に食べられると、傷口を保護するために物質(治療薬)を出します。コナラ(ブナ科)の場合は、傷口から幼虫の成長を妨げる物質を出すので、ハイイロチョッキリは枝を3時間ほど掛けて切り落とし、幼虫を葉っぱが出す毒から守るのです。落ちた団栗は幼虫の餌になります。

なぜこんな関係が生まれただかは分かりませんが、団栗は一方的に損をしているように見えます。われわれは米を食べますが、稲も一方的に損をしているのでしょうか。真相はともかく、生物は「自然の摂理によって生かされている自然の一部」といつか意識しよう。今風に言うと「生物多様性」の問題なんです。地球をもっと大事にしたいと思えました。

ハイイロチョッキリと団栗の関係からこのようなことを連想しました。最後に、植物園のポランティアもようやく面白くなってきました。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています



### 先輩から学ぶ

高山校区  
西ふれあいクラブ

平岡 久章

退職して10年、高齢者の仲間入りとなりました。退職時、先輩から言われた言葉が思い出されます。「これからは、教育・教養が大切だよ」。ちょっと意外だったので確認したところ、教育は「今日、行くところがある」、教養は「今日、用がある」という語呂合わせの心得で、納得しました。私にとってこの心得を支えている用事の一つに、朝の「見守り活動」があります。朝7時半に所定の場所に行くためには、決まった時刻に起きなくてはなりません。恥ずかしながら寝坊助の私にとってはボランティアというより生活のリズムを整えてくれる大切な用事となっています。

次には、趣味のゴルフと写真クラブも心得を支えてくれています。週一回のラウンドプレイと練習場通い。85歳越えの大先輩が飛距離アップ、スイング精度向上を目指してクラブを真剣に振っている姿に刺激を受けています。もう一つの写真クラブは、月3回の撮影会と、その学習会。私の師匠は86歳、仲間の多くも80歳代。大先輩たちが重いカメラを担いで歩き回り、

ベストショットを求めて粘り強くカメラを構える姿に圧倒されています。たかが70歳になったと、隠居心で居られないと痛感させられています。

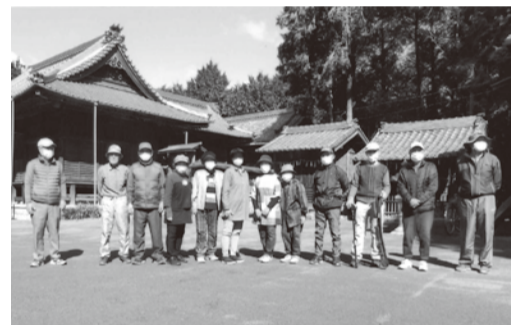
これからも、先輩諸氏の生き様を目標に「キヨウイク・キョウヨウ」の心得を維持して、健康で充実した高齢者生活を満喫していけたらいいなと思う毎日です。

### 帰ってきたよ グラウンド・ゴルフ

玉川校区  
和楽会

大岡 照明

令和3年10月下旬、趣味の教室総括リーダーを兼ねる町内一の人気者、〇×さん、さすがに耳は遠いが(？)年齢を感じさせない愛くるしい話し方と、地下足袋で鍛えた健脚でヒョイヒョイと白い紙きれを片手にやって来た。チャイムの音とともに対応に出た妻に



大声で「11月から始めるのん」「これ渡しておいて」とA4の印刷物を置いて足早に戻っていった。

「コロナ禍が9月下旬から減少気味のため、愛知県も10月をもって解除の方針と報道されていることから、当クラブの役員が再開にこぎつけた様子。昨年の暮れから、ほぼ11カ月間休んだ長らくの巣籠り期間でした。

考えてみれば、休みに入って以来気にも留めなかった「クラブケース」さぞかし「カビ」が生えていると思ひ、チャックを開いてみれば、きらっと光るヘッドが「久しぶり」と言わんばかりに顔を寄せてきた。

早速カレンダーに練習日を大きく赤字で忘れないように書き写し、紅白戦は二重丸、趣味の教室の勉強会はブルーでハッキリ分かるようにマークした。

秋空のもと、ここ数日の冷え込みで一気に色づき始



めたホームグラウンドの鎮守の森は、万年常緑針葉樹(杉の木が多い)に包まれ、常に精霊の宿るお社にふさわしい所です。敷砂をトンボで清めながら、ホールボストをセツトします。

久しぶりに全員揃ったところで、豊橋版ラジオ体操で体をほぐし、マナーを守って御参りを済ませ(願い事をいっばいお願いして)、楽しい時間を過ごします。

当分の間はおやつタイムも自粛です。マスク着用、会話も最小限、お互いの距離を置いて、少し厳しい制限がありますが、慣れればさほど苦になりません。週2回、交流も兼ねて練習しています。無論、プロ並みの老翁もいれば、よぼよぼの老婆もいますが、クラブを握ればたちまち変身します。「南無阿弥陀仏」と呪文を掛ければカチツと強打した魔球は見事にガラガラと音を立てて、ホールボストの中にヒットするから

やめられない。この世界は年齢無条件です。それぞれスタイルで人一倍研究熱心なベテランもいます。今日も「スコアが伸びた」「昨日の疲れが残っているとか？」などワイワイ言いながら、気心の分かった仲間がリーダーの笛を合図に3ゲーム楽しみました。チームリーダーが集計をしている間に全員で器具をきれいに掃除をして、収納ボックスに収め、成績発表を聞いてそれぞれの健闘を称えました。時間の許す人はなじみの喫茶店でランチを楽しみ、多忙な人はそのままマイカー(軽トラ)で妻の待つ畑に直行します。

### モーニング コーヒー

天伯校区  
天伯シニアクラブ和みの会

西川 誠

定年になってから、コーヒーを飲む機会が増えた。用事がない場合を除き、毎朝定時に近くの喫茶店に立ち寄りモーニングコーヒーを飲む。時間に余裕ができてからの習慣だ。ここでの1杯のコーヒーは1日の活力源であり、スタートでもある。

ここで店の紹介をしよう。テーブルは10席ほどで、コロナ禍からディスプレイを広く取って、客への配慮が行き届いている。落ち着いた雰囲気がある。反面暗いが、しゃれた風合いを醸し出している。

さて、客層は年配が多く、私のような1人ではなく数人のグループが多い。なじみの人も多く顔を合わせ、「ヨオー」と軽く会釈から始まる。いろいろの景色が垣間見えて楽しい。読み物は新聞、週刊誌等、豊富にある。また老齢の客も多く、コーヒーには通が多く評価は厳しい。私も20代からのコーヒー通だ。味には一言を持っていて、ちょっとうるさい。今日はフレンド、モカとか、まずコーヒー談義から入る。味もさることながら、その場の雰囲気も大事だ。まあまあいい方だ。

客の中にはコーヒー一杯で数時間頑張る達人もいる。また高齢の婦人も話が長い。顔見知りとの政治、経済、世事と、はたまた町内の行事等へ話が及ぶ愉快なコーヒータイムだ。店員に長居してごめんねと謝りながらのひとときだ。老人には日々、人との接触が脳への肥やしであり、長生きの秘訣でもある。

最後に、お礼の意味を込めて、コロナの終息と、友の健康、あわせて店の発展を祈ろう。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

### 光琉君のみた夢

栄校区  
大空会

小山正博

光琉君は自分の名前が大好き。ある日の夕方、おばあちゃんと一緒に公園へ散歩に行きました。おばあちゃんは光琉君と一緒にだどりラックスします。ベンチに腰掛けていい気持ちで日向ぼっこ。原っぱにたくさん赤とんぼが気持ちよさそうに飛んでいます。光琉君は不思議な羽の色をしたとんぼを見つけ追いかけてました。そのうち気持ちが良くなり幸せを感じました。

とんぼの羽が夕日に映えて不思議な色に光っていました。とんぼはどこで寝るのかな。

その晩に光琉君は夢の中、スイスイと飛ぶとんぼの背中に乗っていました。背中は気持ちよく、いつの間にか眠りました。目が覚めるとそこは山の中。空には満天の星が宝石のように輝いていました。光琉君は星を見て幸せな気分になりました。涙が出ました。僕も星になりたい。そして星になった僕を見る人を幸せにしたい。ととんぼに言いました。とんぼは言いました。光琉君のそばを飛んでいたら分かった。光琉君はいい人だ。地上で最高の人。星になれる人は決まっているよ。

よ。自分を計算に入れず、ただ人に尽くした人が神様から選ばれるんだ。

空の星を見ながらなぜか涙を流していいんだ。この世で一番素敵なものに出会ったから。光琉君はそう思いました。

### 能登水族館の一日

花田校区  
西羽田町ゆたかクラブ  
羽田光江

五輪開催日の連休に能登ロイヤルホテルに自家用車で主人と二人で出かけた。電気自動車なので途中サービステリアがある度に充電をせねばならず、その度休

憩をしてくれるゆつくり旅行である。ホテルは泊予約済みで心は弾んだ。

能登島の水族館は先客が多く、駐車場は満杯で整理員の指示で入場を待つ。中は家族連れで満員だ。大きな水槽の展示館を一周した後、イルカのショー会場に出た。イルカは5頭いて2人の調教師が2頭と3頭別々に指示をしている。ジャンプや棒を飛び越える。また立ち泳ぎと、立ってぐるぐる回り、ボールでサッカーをしたり鼻先でボールを回したり、くす玉を割ったり、上手に芸を見せる度に魚を1匹ずつ与えられる。3頭のイルカと2頭

のイルカは同じ芸を見せるにしても相手がやっている間はじっと待っていて指示通りに芸をするところが、なんとも上手にわかまえていて感心してしまう。ラストは3頭と2頭が交互にジャンプを行い、きれいな輪を描く。その中にアシカが1頭やってきてバスケットボールを上手に運び片手で羽ばたいて喜びを表現する。素晴らしい。同じプールの中でイルカも仲良く泳いでいて、相手の芸の間はじっと待っているのを感じた。皆利口で協力的で笛の合図でこれほどまでに達者なのに感心した。大きな水槽には3メートルほどの

エイや5メートル超のサメもいて見事であった。他にガラス美術館やお寺の見学をしてホテルに帰った。

老人2人のドライブ旅行であったが、無事自宅へ帰り安心した。「お父さん」お疲れさまでした。

ゲートボールほど難しいスポーツはありません。初めは全然面白くありません。第1ゲートさえ通れば、仲間が助けてくれると言っているのですが、なかなか通らない。第1ゲートが通らなければ、試合に参加できません。ゲームに迷惑を掛けます。練習では通るのに、試合になると通らん病がまん延して、「お〇」というのが多々あります。神様お願い通して…。でも通りません。10何年超のベテランでもそうです。

### みんな楽しくゲートボールを

牟呂・汐田校区  
外神豊寿会  
鈴木喜久男

また第1ゲートは通ったけど、第2ゲートへ行けばいいという単純なものではありません。試合の流れというものがあって、一応主将がいて指示してくれることになっているのですが…。ボールの連携、アウトボール、ダブルができていろいろ必要な要素があって正解

というものが無いのがゲートボールの面白さ。

ただゲートを通れば、ボールを当ててコートから出なければもう1回打てるので正解なのですが、そんな人はまずいない。普通の人には通らん病・当たらん病に感染していて、アレー・アハハ・ゴメン・もういや。惜しい、で終わるのであります。

近くの公園で10人ほどのお年寄りが集まってゲートボールを楽しんでくれたなら最高だと思う。毎日ゲームを楽しんで健康に過ごせたら、最高に幸せな余生。

### 戦争にまつわる私の体験(抄)15

二川南校区  
二川南町寿会  
山本民男

#### 遠足

遠足は全部徒歩で春と秋の2回行われました。1年春は普門寺、秋は細谷海岸でした。2年以降は決まっていたかどうか覚えがありません。

私の家は養鶏家でしたが、ゆで卵を食わせてもらえらるの運動会と遠足だけでした。割れた卵は傷玉と言われ、近所の人々が買っていきました。

豊田佐吉の生家を訪問したことがありました。生家の母屋はなく、父親

この廃プールは水中に杭を打ち飛び込み台となる平らな板とターンに必要な垂直の板の質素なもので、飛び込み台から水面までの高さは潮の干満によって変化します。

当時50メートルのコースは珍しく、ここではロス五輪のメダリスト(牧野、宮崎、清川氏等)が泳いだことがある、とのことでした。



# 会員文芸

## 俳句

■八町校区 中八老人クラブ  
もの思う心にしみる冬の雨  
白谷 秀夫

■吉田方校区 若波会  
満開の牡丹を散らす風にくし  
河合 昭子

■大清水校区 大清水老人クラブ虹の会  
松手入れたへて整ふ狭庭かな  
水野 せつ

■大清水校区 第二きさらぎ会  
大根が太すぎ抜けぬ雨を待つ  
花井 博行

■大清水校区 第一豊松会  
南瓜の葉庭一面に青海波  
鈴木 正子

■大清水校区 第二豊松会  
見えを切る団十郎や雲の峰  
藤村 元司

■大清水校区 柳風会  
亡き父の日記読みつつ秋彼岸  
平山 勝



■飯村校区 第二飯寿会  
赤とんぼ微動だにせぬ梵鐘に  
廣中 雅子

しゃっくりのよく出る女秋の風  
佐野 栄子

■杉山校区 高明日望会  
茶を淹るる織部の茶碗秋深し  
井土 幸子

蛋白質少し不足の降り月  
竹内 澄子

里山の棚田に映える彼岸花  
中神佐和子



■福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会  
何処より瓶の稲穂に蜻蛉くる  
高井 宏昌

■小沢校区 第二寿会  
庭先の甘い香りの金木犀  
本馬 孝子

■小沢校区 第三寿会  
城跡の朽ちる祠や吾赤紅  
外山 孝子

■岩田校区 東岩田長寿会  
季節なり赤く染めてはる彼岸花  
加藤カツエ

■栄校区 大空会  
切り取ってポケットの中秋の空  
小山 正博

## 短歌

■豊校区 西岩田親睦クラブ  
柚子ひとつ浮かべやんはり五体撫つ  
一番風呂は仕舞湯となる  
金田 英子

■吉田方校区 若波会  
お正月姉一〇〇才の歌声は  
胸にしみいる我九十路  
河合 昭子

真白な杜若の花百本ひらく  
真つ青な空あたり明るし  
大木 篤子

コロナとふウキルス誠に人の意を  
いとも容易く次々こはす  
丸山三三四

我が家の庭はすつきりそれでもね  
職人さんの庭になつてる  
空野 文枝

高齢者のセミナー五回どの回も  
身のまはりの事防犯と予防  
横山 宜世

■吉田方校区 菰口町寿会  
二回目のワクチン済んだと友の電話  
明るい声でお茶のお誘い  
杉浦尊香子

■幸校区 南松原寿会  
秋風に夏の疲れをのせてみた  
空高く舞い山の彼方へと  
伊藤富士子

道への露草の藍爽やかに  
前ゆく人のそつと触れゆく  
大橋 睦子



■幸校区 牧野町長寿会  
青空を元気に泳げ鯉のぼり  
孫子あわせて祈る青空  
宮田 建夫

秋風に白とピンクの波寄する  
休耕田のコスモスの花  
山本 久子

■小沢校区 第二寿会  
雁渡る表決辺を編隊組み  
夕日背にし東へ飛び行く  
本馬 孝子

■天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会  
片手袋落とした人が寒かると  
幼き孫交番に届ける  
西川 誠

■栄校区 大空会  
何もなく暮れていくから平穩に  
静けさに満ち深まる幸を  
小山 正博

■津田校区 葵栄会  
姉白寿夫も米寿に吾は半寿  
菊花香りて空晴れわたる  
中島タエ子

■大清水校区 第一豊松会  
遠花火今日祭りなるを思い出し  
来年こそはお宮で見たし  
鈴木 正子



■大清水校区 第二豊松会  
故郷の花の小径に迷い込む  
桑の実食べたあの人がいづく  
藤村 元司

## 川柳

■中野校区 中野おあしす会  
おしゃべりは老人会のお楽しみ  
彦坂 吉尚

雨女だどやつと気付いた濡れネズミ  
彦坂くみ子

■吉田方校区 若波会  
花見席艶歌に酔ひて酒いらず  
河合 昭子

■植田校区 植田白寿会  
昔「酒」今はお医者のはしごする  
松井 徳之

■幸校区 南松原寿会  
庭に咲く月下美人草夜に舞い  
伊藤富士子

■大清水校区 第二きさらぎ会  
人生はあつと云う間の玉手箱  
花井 博行

■大清水校区 第一豊松会  
杖ついて歩くよるこびなみだして  
坂神 克子

晩酌は量が減つても続けたい  
スタスタがヨロヨロになり納得す  
彦坂 昌代

姿見を置いて一人寝二人言  
鈴木 正子

■大清水校区 第二豊松会  
留守電はジジババの守り神  
藤村 元司

喧嘩して女房に勝てる亭主なし  
彦坂 登

■大清水校区 柳風会  
孫帰るちぎれんばかり手を振って  
平山 憲子

青リボン付けるだけでは帰れない  
仲井 丈二

腹ペコとリンゴの唄の青い空  
近藤 庸子

■福岡校区 小池元町百寿会  
異国での眞子さん至福祈つてる  
中野美美子

■野依校区 野依ふれあいクラブ  
響き良い言葉並べて丸め込む  
村田第一郎

■二川校区 二川のんほい川柳会  
課題「嘆く」  
目の垂れを嘆いてみても歳なのね  
梅原 咲子

喉自慢本番上がり嘆き節  
彦坂 直政



コロナ禍で生活苦にし嘆く人  
三浦 常子

姿見の曲がる腰見て嘆いてる  
森 さちゑ

歎いても仕方ないよと慰める  
小野田静花

現実と思いが離れほぞを噛む  
朝倉 立子

低い鼻を嘆く罪のない顔だ  
中村 信

歎いても変わらないから前向いて  
渡邊眞理奈

虐待を嘆く尊い子の命  
高橋 良子

友寄れば嘆きの愚痴で気が晴れる  
砂田 治美

歎いたら福が逃げると母は笑む  
鈴木 順子

■栄校区 大空会  
金持ちは黄金の海に沈んでる  
小山 正博

■八町校区 中八老人クラブ  
大雨の被害甚大温暖化  
白谷 秀夫

